

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の第2四半期累計決算は、自動車の電動化、省エネ、デジタルインフラなどの設備投資が堅調に推移するなか、パワー半導体の生産能力増強や、顧客需要に対応した生産の最適化などに取り組み、第1四半期決算に引き続き、売上高、営業利益、経常利益、純利益いずれも過去最高を更新することができました。中間配当につきましては、前年同期に対し1株当たり5円増配の60円とさせていただきます。

地政学リスクの高まりや環境問題を含めた持続可能性への対応など、企業を取り巻く環境はより複雑化し、難しさが増えています。こうした環境下にあっても、当社は、経営理念・経営方針に掲げる、ステークホルダーの皆様との信頼関係を深め、エネルギー・環境技術の革新により、安全・安心で持続可能な社会に貢献することを使命として、経営スローガン「熱く、高く、そして優しく」の実践とともに従業員ファーストの経営を推し進めてまいります。

本年9月に当社は創立100周年を迎えました。長年にわたる株主の皆様のご支援とご協力に心より感謝を申し上げますとともに、今後も一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

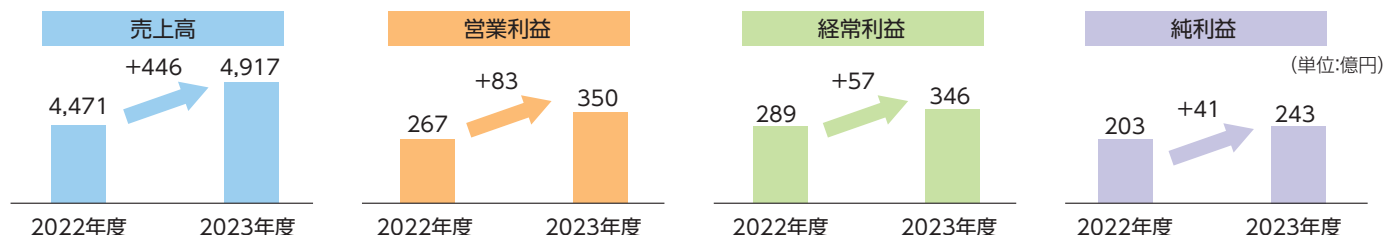
富士電機株式会社
代表取締役会長CEO

北澤通彦



上半期決算

売上高、営業利益、経常利益、純利益いずれも過去最高を更新



売上高・営業利益

売上高は産業分野の省エネ化、自動化、デジタル化、自動車の電動化などの需要を取り込み、前年同期に比べ446億円増加の4,917億円となりました。営業利益は原材料価格の高騰や人件費、生産能力増強に係る費用などの増加があったものの、物量・生産増、原価低減の推進、為替影響などにより増益となり、前年同期に比べ83億円増加の350億円となりました。

セグメント別

オートメーション分野の売上が拡大したパワエレ インダトリー、電動車 (xEV) 向けの売上が拡大した半導体、自動販売機およびコンビニエンスストア向け店舗設備機器の売上が拡大した食品流通が業績をけん引しました。

(単位:億円)

セグメント別	2022年度		2023年度		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
パワエレ エネルギー	1,156	96	1,228	87	72	△9
パワエレ インダストリー	1,502	11	1,712	50	211	39
半導体	970	149	1,085	168	115	18
発電プラント	348	△5	325	1	△23	6
食品流通	448	32	532	54	84	22
その他	286	15	313	21	27	5
消去または全社	△239	△32	△279	△31	△40	1
合計	4,471	267	4,917	350	446	83

特集：富士電機のエネルギー・環境事業

当社は、エネルギーの供給サイドから需要サイドまで幅広い製品を有しており、カーボンニュートラルの実現に向けて「クリーンエネルギーの主流化」「エネルギー供給の安定化」「省エネ機器・システムの普及」「電化率の向上」に貢献しています。

当社が強みを持つ製品とその環境貢献についてご紹介します。

供給サイド

需要サイド

クリーンエネルギーの主流化

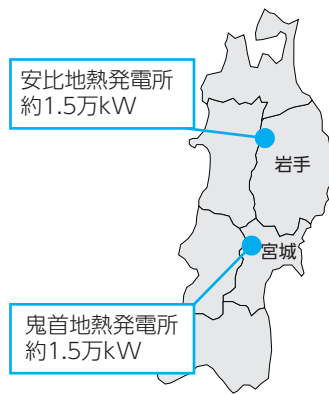


●地熱発電

地熱発電は再生可能エネルギーの中でも、安定的に出力を得られるベースロード電源として注目されています。日本では世界3位となる23GW^{※1}の地熱資源量がありますが、熱源が国立・国定公園内に存在するなどの理由により2020年時点の地熱発電の導入量は約59万kW^{※2}に留まっています。政府は2030年には約3倍の140-155万kW程度にまで引き上げる目標を設定しています。

当社は世界トップシェアの実績で培ったノウハウを強みに提案を進め、2020年以降は東北で2件の発電設備を納入しています。今後も国内外で事業拡大を図ります。

※1 出典：「日本の熱水系資源量評価」 村岡洋文、阪口圭一、駒澤正夫、佐々木進（2008）日本地熱学会講演論文集
 ※2 出典：経済産業省「2030年における再生可能エネルギーについて」（2021/7/6）

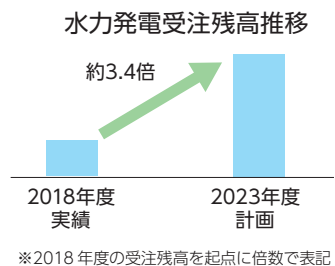


●水力発電

水力発電は、電力需要の変動に応じて柔軟に発電量を調整でき、電力を安定的に供給することが可能です。

当社は1936年から日本の水力発電設備に携わり、国内の約3割にあたる400箇所以上の発電所に納入してきました。

現在、日本では老朽化した発電設備の更新需要が拡大しており、受注残も直近5年間で約3.4倍に増えています。



※2018年度の受注残高を起点に倍数で表記

エネルギー供給の安定化



●無停電電源装置

デジタル化を背景に設備投資が拡大するデータセンターや半導体製造工場において、停電などから設備を守り、電力の安定供給を実現する無停電電源装置（UPS）の需要が増加しています。

当社のUPSは高い信頼性や省スペース化に加え、業界最高クラス（最大96.0%[※]）の電力変換効率を実現、国内のデータセンター分野では関連する電気設備を含め一括提案することでトップシェアを占めています。デジタルインフラの強化とともに環境負荷の低減に貢献しています。

※インバータ給電時。商用電源からの給電時は98.5%の給電効率を実現



白井データセンターキャンパス
株式会社インターネットイニシアティブ様



納入したUPS・配電盤

省エネ機器・システムの普及



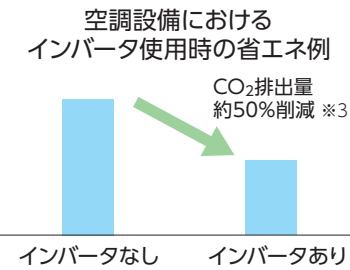
●インバータ

インバータは、空調ファンやポンプ、クレーンなどの産業機器を動かすモータの回転を自在に制御することで損失を大幅に低減し、省エネを実現します。

国内の電力の約55%^{※1}がモータにより消費されていると言われるなか、産業機器のインバータの装着率は25%程度^{※2}と未だ限定的であり、今後も国内外で需要の拡大が見込まれます。

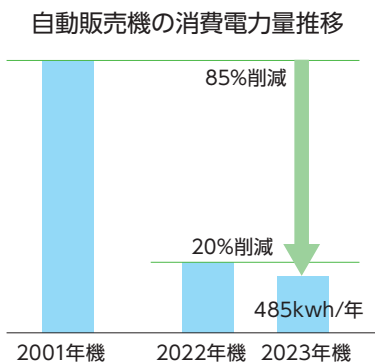
当社のインバータは、自社製パワー半導体の搭載により高効率化とCO₂排出量の更なる削減を実現します。

※1 出典：一般社団法人日本電機工業会「トップランナーモータ」
 ※2 出典：一般社団法人日本電機工業会 2022年度「モータ・インバータに関するユーザ調査」報告書
 ※3 FRENIC-MEGAの代表的な運転条件で算出（4,000h/年稼働）
 風量85%運転（2,000h/年）：負荷61% 風量60%運転（2,000h/年）：負荷22%



●自動販売機

国内シェア7割を誇る自動販売機は、当社のコア技術である冷熱技術を活用し、省エネ性能の高い自動販売機の開発を進めています。2023年発売の最新機種は前世代機と比べ最大20%の省エネを実現し、家庭用冷蔵庫と同水準の消費電力に抑えています。



電化率の向上

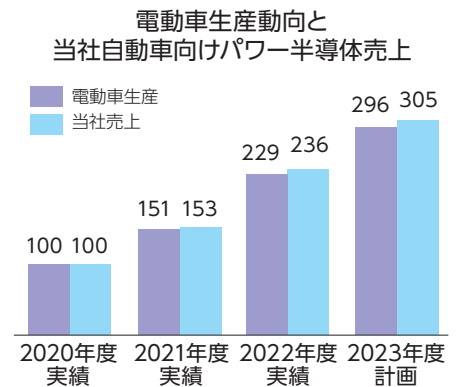


●パワー半導体

自動車の電動化が加速するなか、駆動用モータの出力を制御するパワー半導体の需要が拡大しています。

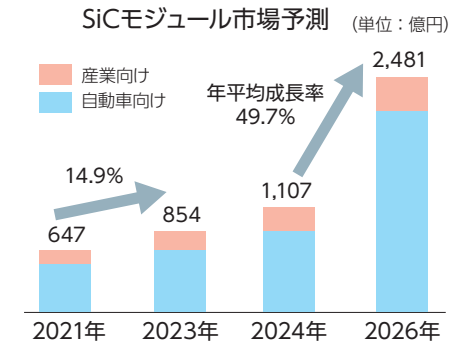
当社のIGBTモジュールは半導体チップおよび冷却技術の進展により小型化と高信頼性を実現し、自動車の航続距離の延長や搭載電池容量の削減に貢献しています。

採用車種の拡がりとともに市場の伸びを上回るスピードで売上が拡大しています。



※2020年度実績を100とした指数で表記
 電動車生産はフルハイブリッド車および電気自動車の合計

シリコンを大幅に上回る省エネを実現する次世代材料SiC（シリコンカーバイド）を用いた製品についても採用が決まり、2024年度以降の本格量産に向けた準備を進めています。



※調査会社データを基にした当社予測値

2023年度 通期業績予想

前回予想を据え置いています

(単位:億円)

	2022年度 実績	2023年度 7/27予想	2023年度 10/26予想	対前年増減	対7/27増減
売上高	10,094	10,600	10,600	506	0
営業利益	889	960	960	71	0
営業利益率	(8.8%)	(9.1%)	(9.1%)	(0.3%)	(0.0%)
経常利益	878	945	945	67	0
純利益	613	645	645	32	0

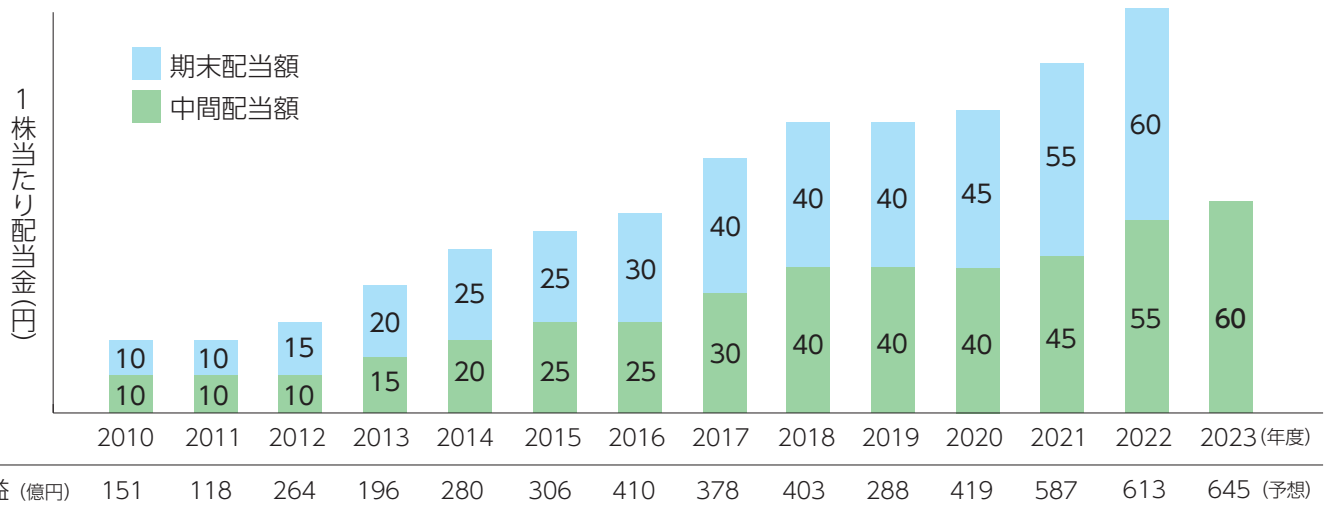
下半期の前提為替レート

	10/26予想
USDドル	¥140.0
ユーロ	¥150.0
人民元	¥19.5

中間配当

5円増配の1株当たり60円としました

通期業績予想および財務状況などを総合的に勘案して前年同期に比べ5円増配の1株当たり60円とさせていただきます。なお、期末配当は下半期の動向を見極め決定します。



皆様のご応募ありがとうございました。

「富士電機レポート2023」「2024年版当社オリジナルカレンダー」に多数のご応募をいただき、厚く御礼申し上げます。カレンダーをご請求いただいた株主様には11月上旬から順次発送しております。



「親会社株主に帰属する当期純利益」は、本報告書においては「純利益」と表記しております。本報告書の将来についての戦略等に関する記載は、作成時点において当社が合理的と判断した一定の前提に基づくものであり、実際の結果とは実質的に異なる可能性があり、当社はこれらの記載のうち、いかなる内容についても確実性を保証するものではありません。

富士電機株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号
(ゲートシティ大崎イーストタワー)
電話 03-5435-7111 <https://www.fujielectric.co.jp>



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

